

**令和6年度 音江中央保育園における自己評価
栄養士**

A:よくできている
B:ほぼできている
C:努力が必要

NO	自己評価の観点	評価		
1	保育理念・保育方針に基づいた「食育計画」	A	B	C
	①深川愛育会基本理念 「こころをまんやかに人と関わります」に沿って保育している。	1		
	②保育目標 「明るく元気な子」「素直で思いやりのある子」を目指して仕事をしている。	1		
	③保育園で作成された保育計画の中に「食育の計画」が位置付いている。	1		
	④「食育の計画」が全職員に共有されている。	1		
	⑤食に関する豊かな体験ができるように「食育の計画」が作成されている。	1		
	⑥食育の計画に基づいた食事が提供され、その評価・改善を行っている。	1		
2	食育について			
	①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	1		
	②旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	1		
	③行事や季節に合わせてメニューを工夫している。	1		
	④調理員や栄養士の役割が明確で、自分の役割を果たすようにしている。	1		
	⑤保育園で配慮していることなど、展示食やおたよりなどで伝え、関心を促している。	1		
	⑥食事を通じて五感（見る・聞く・匂う・味わう・触れる）が豊かに育つように配慮している。	1		
	⑦特別な配慮の必要な子ども（アレルギーなど）の状況に合わせた食事の提供をしている。	1		
	⑧除去食の提供にあたって、間違いがないよう十分に気を配っているか。	1		
	⑨乳幼児期の発育・発達に応じた食事の提供になっているか。	1		
	⑩年齢や個人差に応じた食事の提供をしている。	1		
	⑪子どもの発達に応じた食具（食器・スプーンなど）を使用している。	1		
	⑫離乳は、保護者と連携し、発育・発達の段階に応じて進めている。	1		
	⑬衛生的な食事の提供を行っている。	1		
3	その他			
	①保育士と連携を取り、子どもの情報共有をしながら食育を進めている。	1		
	②職員同士のコミュニケーションはしっかりとれている。	1		
	③給食室内での業務分担や変更事項、調理内容など相手にきちんと伝えている。	1		
	④保育園で知り得た情報は守秘義務を守っている。	1		